釧路工業高等専門学校	開講年度	平成31年度 (2019年度)	授業科目	建築防災工学

科目基礎情報

科目番号	0034	科目区分	専門 / 選択
授業形態	講義	単位の種別と単位数	履修単位: 1
開設学科	建築学分野	対象学年	5
開設期	後期	週時間数	2
教科書/教材	太田敏一、松野　泉：防災リテラシー（森北出版）		
担当教員	草苅 敏夫		

到達目標

1．地震と津波の発生メカニズムについて説明できる
2．地震と津波に対する防災対策について説明できる
3．台風と豪雨による災害について説明できる
4．台風と豪雨に対する防災対策について説明できる
5．火災による被害と予防対策について説明できる
6．災害に強い街づくりについて説明できる

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
地震と津波の発生メカニズム	地震と津波の発生メカニズムについて詳細に説明できる	地震と津波の発生メカニズムについて概ね説明できる	地震と津波の発生メカニズムについて説明できない
地震と津波に対する防災対策	地震と津波に対する防災対策を詳細に説明できる	地震と津波に対する防災対策を概ね説明できる	地震と津波に対する防災対策を説明できない
台風と豪雨による災害	台風と豪雨による災害について詳細に説明できる	台風と豪雨による災害について概ね説明できる	台風と豪雨による災害について説明できない
台風と豪雨に対する防災対策	台風と豪雨に対する防災対策について詳細に説明できる	台風と豪雨に対する防災対策について概ね説明できる	台風と豪雨に対する防災対策について説明できない
火災による被害と予防対策	火災による被害と予防対策について詳細に説明できる	火災による被害と予防対策について概ね説明できる	火災による被害と予防対策について説明できない
災害に強い街づくり	災害に強い街づくりについて詳細に説明できる	災害に強い街づくりについて概ね説明できる	災害に強い街づくりについて説明できない

学科の到達目標項目との関係

学習・教育到達度目標 C
JABEE d-1

教育方法等

概要	過去に発生した自然災害や人的災害に関して学び,社会や環境に及ぼす影響を理解する とともにそこから得られる教訓を基に今後の防災計画・システムについて考えていく。 このことから，防災の重要性を認識してもらうことを目標とする。
授業の進め方・方法	座学中心であり,ビデオ等の視聴覚教材により理解を深める。また、防災ゲーム等を通じて防災に親しんでもらう。
注意点	災害関連について新聞やテレビなどのメディアからの情報に気を付けていることや，Webなどを通じての情報検索なども行えるようにしておくこと。 成績評価は、以下の通り。 合否判定：2回の定期試験(後期中間50%＋学年末50%)の平均が60点以上を合格とする。 最終評価：合否判定点＋その他の評価点（±10点） その他の評価点：マイナス（居眠り、授業以外のことをする、私語・暴言） プラス（ノートをしっかり取っている、積極的な授業への取り組み）） ただし，最終評価の最高点は100点，最低点は60点とする. 再試験：不合格の場合には再試験を実施し、60点以上を合格とする。最終評価は60点とする.

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
後期	3rdQ	1週	1.災害の種類: 地震災害,風水害,火山災害,火災,雪害	災害の種類を学び，過去の被害状況の概要が理解できる。
		2週	過去の地震と津波による災害	過去に発生した地震と津波による災害について理解できる
		3週	過去の地震と津波による災害	過去に発生した地震と津波による災害について理解できる
		4週	過去の地震と津波による災害	過去に発生した地震と津波による災害について理解できる
		5週	過去の地震と津波による災害	過去に発生した地震と津波による災害について理解できる
		6週	地震と津波に対する防災対策	過去の地震・津波災害を再考し，今後の防災のあり方について考えることができる。
		7週	地震と津波に対する防災対策	過去の地震・津波災害を再考し，今後の防災のあり方について考えることができる。
		8週	中間試験	
	4thQ	9週	台風と豪雨による災害.	過去に発生した台風と豪雨による災害を理解できる
		10週	台風と豪雨による災害.	過去に発生した台風と豪雨による災害を理解できる
		11週	台風と豪雨に対する防災対策	過去の風水害の状況を再考し,今後の対策について考えることができる。
		12週	火山災害と防災対策	火山活動によって生じる様々な被害を学び,今後の対策について考えることができる。
		13週	火災による災害と防災対策	火災によって生じる様々な被害を学び,今後の対策について考えることができる。
		14週	雪害	大雪や豪雪によって生じる様々な被害を学び,今後の対策について考えることができる。

		15週	災害に強い街づくり	災害に強い街を作るための計画や方法を理解できる。
		16週	期末試験	

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
専門的能力	分野別の専門工学	建築系分野	構造	マグニチュードの概念と震度階について説明できる。	4	
			計画・歴史	都市・地区・地域・建築物の規模に応じた防災に関する計画、手法などを説明できる。	3	

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	100	0	0	0	0	0	100
基礎的能力	100	0	0	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0